

地域資源を活用し、環境に配慮した農業生産法人をめざして ～農業生産法人 和伊耕産（沖縄県伊是名村）～

経営体の概要

事業実施前：令和5年で就農し40年経過
平成24年に法人化

基幹作物：さとうきび2ha

経営面積：2.0ha

現在：令和5年

基幹作物：さとうきび9.0ha

かぼちゃ0.8ha、とうがらし1a

経営面積：9.8ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

●水源に乏しく、畑かん施設が不備であったため、干ばつの不安やため池等からの用水運搬の後、手掛けによるかん水を行う等、労力を要していた。

【現在】

●かんがい施設が整備され、給水栓を開閉するだけでかん水が可能となり、干ばつの不安が解消され、作物の生育ステージに合わせたきめ細やかな水管理が可能となり、導入作物の選択肢も増加した。

営農改善、経営転換等のポイント

①高収益作物の導入と環境に配慮した営農の実践

事業により、水管理労力の低減が図られたことで導入作物の選択肢が増加。さとうきび単作から、さとうきびにかぼちゃやとうがらしを加えた複合経営に転換し、収益性の向上を図る。

経営の柱であるかぼちゃ栽培に当たっては、緑肥や有機マルチの利用等、地域資源を活用して環境に配慮した営農を展開している。



かぼちゃの栽培状況

②人材の育成・確保

本経営体は平成24年度に法人化するとともに、従業員5名（日本人1名、インドネシア人1名、セルビア人3名）を雇用している。その他、農作業ボランティアの受入や外国人技能実習生の指導等、人材育成にも尽力している。



かぼちゃの収穫状況

③流通・販売や加工の取り組み

所得向上を図るため、かぼちゃ、とうがらしのネット販売等にも取り組んでいる。また、新たに栽培を始めたとうがらしについては、ホットソースに加工し、村内の直売施設である離島ターミナルでも販売するなど、6次産業化にも取り組んでいる。



ホットソース

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：伊是名村

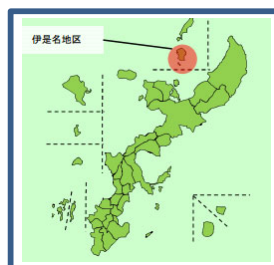
受益面積：520ha

事業期間：平成11年度～平成23年度

事業目的：畑地かんがい

主要工事：地下ダム1箇所、貯水池1箇所
用水路4.2km、水管理施設一式

位置図



伊是名地区

<問い合わせ先>

沖縄総合事務局
農村振興課 企画指導官
電話：098-866-1652
(内線：83338)

(令和5年度調査時点)